

# 武蔵小金井駅南口再開発第一地区

58年を経てようやく完成!!おめでとうございます

## ●商業施設と住戸の華麗な合体

地上26階・24階のツインタワーからなる総戸数716戸の分譲マンション「プラウドタワー武蔵小金井シティクロス」は各種商業施設の他、郵便局・クリーニング・アフタースクール等49施設が併設されています。



敷地面積約14,200m<sup>2</sup>、2017年から着工土地等の地権者が開発に協力した野村不動産と共に再開発組合を結成し一体となって開発(組合施工)  
地上26階・24階・地下2階のツインタワー、716戸の住戸と49の店舗  
小金井市は①防災→街区全体の不燃化等、②子育て支援施設の整備、③公共広場機能等の空間は公共に資する公益事業として15億円、国は30億円、都は15億円、野村不動産は約400億円の支出

## ●南口再開発の全体のおよみ

## ●6月に第一地区の完成

この計画の推移は1962年(昭和37年)に駅前広場等一部が都市計画決定された事がきっかけです。その後6万m<sup>2</sup>の宏々たる武蔵小金井駅南口地区再開発の構想が生まれました。JR中央線連続立体交差事業の進展により再開発の機運が高まりました。国の支援により第一地区として都市計画決定し2009年に25階建の商業施設とマンション200戸のプラウドタワー・アクウェルモール・イトヨーカ堂・市民交流センター・nonowa武蔵小金井SOUTH・フェスティバルコート等が完成しています。

第二地区の完成、おめでとうございます。小金井市の未来に貢献出来る施設の完成です。

10万円コロナ給付金のお申し込みはお済みですか?

国や都の各種補助金・給付金の申請も確認を!



前衆議院議員  
土屋正忠

第二地区完成おめでとう。小金井の新しい時代の幕開け。星野治衛理事長を始め50年余にわたる努力の成果です。武蔵小金井駅南口の旧駅前広場は中学校の体育館と同程度の700m<sup>2</sup>という極小の広場でした。地元の夢は利便性の高い広場と再開発でした。

平成11年に稻葉市長が誕生、中央線高架事業が動き出したこの時期を逃がしては、一度とチャンスはない、国土交通省都市局や東京都に知恵を借りて、血の滲むような努力を重ね現在の第一区3万m<sup>2</sup>の事業を完成させました。この第一地区的成功があつて第二地区的事業に取り掛かれました。星野治衛理事長をはじめ地権者の執念と稻葉市長の先見性と責任感と交渉力が今日の完成をもたらしたのです。



遠藤ゆりこ

## 遠藤ゆりこプロフィール

〒184-0014  
東京都小金井市貫井南町4-13-9  
携帯 090-1536-8271  
FAX 042-384-3401  
E-mail:yuri369yuri@gmail.com  
URL http://yuri369.com/



- 小金井市議会議員現在5期目
- 行財政改革調査特別委員長
- 平成10年 第四小学校PTA会長
- 自民党小金井総支部幹事長
- 小金井市商工会女性部長
- みんなで作る野川ビオトープの会
- 小金井市倫理法人会
- 野川ほたる村 ○薪能理事
- スカウトクラブ ○保護司